

# 平成24年度 第3回 市民と市長の対話集会 市長と語りう！ほっとミーティング

## 開催結果報告書

- 1 開催日時 平成24年（2012年）5月13日（日）  
午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 開催場所 なでしこ公民館 集会室
- 3 テーマ なでしこ地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者18名 傍聴者7名



なでしこ公民館での集会の様子

## **5 市長あいさつ**

皆様、こんにちは。今日はお忙しい中、このほっとミーティングに御参加いただき誠にありがとうございます。御礼を申し上げます。

昨年の就任から、早く地域の皆様のお声を伺いたいと考え、昨年度は防災対策をテーマにした対話集会を4回開催させていただきました。今年度からは地区自治会連合会単位で地域に伺い、その地域の色々なお話を聞かせていただき、御意見を市政に反映させようと対話集会を開催させていただいています。

御存知のとおり、昨年3月11日に東日本大震災がありました。震災を境に、自治体や行政の在り方、取り組みは根本的に変わりました。市民の皆様の生命、財産、安全を中心とした施策を行わなければならないと考え、昨年度は防災対策を進めさせていただきました。市民の皆様の安心安全のために、今年度も引き続き防災対策を続けていきます。

平塚市の各地域はそれぞれが歴史、人材、資源に富んだ素晴らしいまちです。地域の皆様のお力で地域が輝くことにより、地域の集合体である平塚市がさらに素晴らしいまちになると信じています。

今日はなでしこ地区のまちづくりについて、皆様から貴重な御意見をいただきたいと思えます。この場でお答えできないこともあるかと思えますが、一旦持ち帰り、後日必ず回答させていただきます。

どうぞ、今日は忌憚のない御意見をよろしくお願いいたします。

## 6 対話集会の内容

### ① 防災対策、津波対策について

#### 【参加者】

津波避難ビルの対策が進んでいますが、私の住んでいる地域には津波避難ビルになる高い建物がありません。静岡県では、津波避難タワーを数個造ったと聞きました。津波避難タワーの建設について聞きたい。

また、津波避難ビルに指定されているなでしこ小学校には外階段がありません。津波発生時には児童だけでなく、近隣住民の避難も予想されます。迅速な避難のためには必要であると思うので、外階段の設置を考えてください。

#### 【市長】

津波対策として、東海大学と協調し、平塚市津波浸水モデルシミュレーションビデオを市民の皆様にお示ししました。また、御意見いただいた一時避難のための津波避難ビルの指定を行っています。5月7日現在、津波避難ビルの指定が35か所となりました。海岸地域、河川周辺に住む皆様が早く高いところに避難できるよう対策を進めています。今後、極端に早く津波避難ビルを増やすことはできませんが、地域の皆様が命を守るための場所づくりを行っています。

津波避難タワーについては、県でも課題になっています。今年7月、藤沢市の海岸に津波避難タワーが建てられます。試験的に、県内で海水浴客が一番多い湘南海岸である藤沢市に建てるということです。私も、県が防災対策で海岸に津波避難タワーを建てるなら、それぞれの海岸に一つずつくらいは建ててもらいたいと意見しました。先日、御前崎市にある津波避難タワーの見学もしました。螺旋階段状で高さ10メートル程ですが、1棟約3,000万円の費用がかかるそうです。県も財政難のため、津波避難タワーの建設については、市町村が費用を負担するなら建てても良いというスタンスです。しかし、県の広域行政における安心安全を守る施策として検討してほしいと伝えました。

防災対策には情報対策も重要です。124か所ある防災行政用無線の子機はできるだけ聞き取りやすいように努めていますが、家の密閉性等から聞き取りにくいことがあります。補完的役割として、テレフォンガイド、ツイッター、緊急速報メール等を行っています。緊急災害情報が飛び込んで放送される防災行政用ラジオも自治会長等にお配りしました。迅速に確実な情報を届ける取り組みは着実に進んでいます。

津波避難ビルに指定されているなでしこ小学校への外階段の設置については、担当課にて考え、回答させていただきます。

**担当課回答**（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

なでしこ小学校については、津波避難ビルに指定されているため、大地震による津波の恐れがある場合、児童、教職員等だけでなく、地域住民等を含めた多くの方が、高層階へ避難されるものと考えています。

今回御要望のありました外部から直接屋上へ避難できる外階段については、学校施設としては、児童の安全性の確保や外部からの進入などの防犯上の問題があることから、設置の予定はありません。

なお、迅速な避難のために、日頃より、避難ルートの確認を含めた避難訓練等の備えが重要となりますので、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

（事務担当は教育施設課教育施設担当）

**【参加者】**

なでしこ地区には花水川があります。津波の溯上に備えて、河川の堤防の整備が必要であると思います。

**【市長】**

3月末、県から津波浸水予測図が発表されました。12種類の地震の中で、平塚市に最も危険が及ぶであろうというものについて、慶長型地震発生50分後に約6.6メートル、元禄型関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震発生19分後に約6.9メートルの津波が予測されます。津波が国道134号線を超えて平塚市に浸水することは予測されませんが、川を溯上した津波による平塚市への浸水は予測されます。私も知事に訴えましたが、県が津波浸水予測図を発表して危険を把握しているなら、県は津波の溯上に備えた河川への津波対策を行う必要があります。今年、県は市町村が作成する地域防災計画に基づく調査を行い、川を溯上する津波への対策を考えるとのことです。しかし、考えてもらうだけではいけません。今後も要望、働きかけは続けていきます。

**【参加者】**

避難先である学校には鍵がかかっています。校長先生からは、避難の時には鍵を壊してでも避難してかまわないと言っています。

**【市長】**

学校等の公的な施設については、鍵を壊してでも避難していただいて結構です。命に代えられるものはありません。このことは教育委員会も承知していま

す。県の施設である平塚工科高校でも、平塚市と県の協定等の中で、津波避難の際には、市民の皆様を無条件で受け入れていただくことになっているため、何のためらいもなく避難していただいで結構です。

**【参加者】**

花水川の河口には水門があります。津波警報発生時等には、だれの指示により、だれが水門を閉めますか。

**【市長】**

津波警報発生時等、どのような指示系統により、だれが水門を閉めるのかを土木部に確認して回答させていただきます。

**担当課回答** (集会后、次のとおり担当課に確認をしました。)

花水川河口にある水門は、公共下水道雨水幹線等の放流口として2か所の水門が設置されていて、本市が管理しています。津波警報発生時等には、本市の災害対策本部の下、発表される津波の高さにより、土木復旧部として水門を閉める等の判断をし、土木復旧部が行います。

(事務担当は土木補修課排水施設維持管理担当)

**【参加者】**

私の家には80歳を迎える祖母がいます。なでしこ地区は後期高齢者が多い地域と言われます。災害時の高齢者の安心、安全について聞きたい。

また、災害時の要援護者支援について、行政は個人情報の提供に難色を示します。個人情報と命ではどちらが大切かということを考えてください。

**【市長】**

災害時の高齢者、障がいのある方への援助は必要です。民生委員児童委員の方には本当に御苦労をおかけしていますが、災害時要援護者避難支援プランをつくっています。3月末、約5,800人の登録をいただいでいますが、まだ不十分です。災害時には、地域の皆様が要援護者である方の情報を把握していただくことが大変重要です。情報の把握が救助に大きく影響します。

御意見をいただいた行政からの情報提供については、今後、自治会や民生委員児童委員の皆様が要援護者である方の情報を把握できるような体制づくりを行っていきたくと考えており、今年度は防災対策の強化対策である災害時要援護者避難支援プランの個別計画を具体的に進めていきます。

大変難しい課題ですが、自治会、民生委員児童委員協議会、地区社協、庁内関係部課が協調して行っていきたくと考えます。

## ② 商店街、防犯について

### 【参加者】

商店街では集客のため、道路をブルーカラーに塗装するなどの様々な取り組みが行われ、私も参加、協力したいと考えています。なでしこ地区の商店街は昔からのもので、大きな駐車場がありません。平塚市所有の土地や施設の駐車場を開放していただければ、遠くから多くの人に来てくれると思います。

### 【市長】

私も市役所に入庁し、初めに商店街に係る仕事をさせていただきました。この地域の商店街では、チケットやシールの発行などの取り組みを地域が一体となり行っていただきました。この商店街が中心となり、にぎわいが起こる取り組みへの御協力はさせていただきます。

駐車場のことについては、公の土地を開放してほしいという御意見も含め、スペースを取ることができるかを経済部にて考えさせていただきます。

### 担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

商店街のにぎわいや利便性について、商店街の利用者用の駐車場が整備されていることが望ましいものと考えます。

現在、なでしこ地区には、本市が所有する土地で駐車場に適した未利用地はなく、また他の目的で使用中の土地をただちに駐車場用地とすることは、様々な制約等もあり難しい状況となっています。

本市の土地や公共施設を管理している関係課と連携をとりながら、今後、なでしこ地区に商店街の駐車場用地として利用可能な土地が確保できた場合には、改めて商店会を含めて検討してまいりたいと考えています。

（事務担当は商業観光課商業担当）

### 【参加者】

商店街では組合員が徐々に減っています。組合員が減ることにより、商店街の街路灯の電気料金を払えなくなる心配があります。補助率は実質約55パーセントで、組合の自己負担が実質約45パーセントです。街路灯は重要で、防犯灯の役割もするので、行政には将来的な課題として捉えてほしいです。

例えば、商店を開くのであれば、組合に入ることを義務付ける条例をつくらせていただければ、組合員は増え、電気料金を払っていくことができます。

### 【市長】

条例をつくり、組合への加入を義務付けることはできません。しかし、行政として、商店街の組合への加入、同様に自治会への加入についての働きかけは

させていただきます。

**【参加者】**

なでしこ地区では犯罪が増えています。一昨年までは街路灯の照度アップのために補助がありました。防犯対策のために、地域の街路灯の照度アップを再度行ってほしいです。また、地域に防犯カメラを設置してほしいです。

**【市長】**

街路灯については、普通の電球では切れやすいためLED電球の利用を促進していますが、初期投資には費用がかかります。

防犯カメラについては、防犯対策として地域の皆様と協調しながら設置についても考えていきたいと思えます。

街路灯、防犯カメラともに、なでしこ地区への設置及び地域の皆様の設置に対する補助を担当課にて考えさせていただきます。

**担当課回答**（集会后、次のとおり担当課に確認をしました。）

現在、「平塚市防犯街路灯設置補助金」において、自治会が管理する防犯街路灯を設置、移設、建替えをする場合、その工事費の一部を補助しており、今年度から自治会が電柱等にLED防犯街路灯を設置等する場合の補助限度額を10,000円から20,000円に増額しました。（ポール柱等を建て、合わせてLED防犯街路灯を設置する場合の補助限度額は、20,000円から30,000円に増額）

自治会において設置する際に御相談いただければ、高照度のLED防犯街路灯について説明させていただきます。

防犯カメラについては、プライバシーの問題等もあり駅周辺を除き本市では設置等していませんが、お寄せいただきました御意見は、今後の参考とさせていただきます。

（事務担当はくらし安全課安心安全担当）

### ③ 観光について

#### 【参加者】

なでしこ地区は海や川の周辺の整備が足りないと思います。

花水川河口にある石碑の周辺は景色が素晴らしい場所です。しかし、石碑は傾き、石碑を囲うコンクリートは割れて散乱してしまっています。また、周辺は雑草が生い茂り、せつかくの景色が台無しです。なでしこ地区の海岸周辺の地域が憩いの場となるためにも、石碑の傾きを直し、囲いを整備して周辺を除草してほしいです。

また、川の周辺に散歩道や遊歩道があれば、地域の住民だけでなく多くの人利用できると思います。

#### 【市長】

現在、国道134号線が改修中です。龍城ヶ丘のプールまでが4車線化される予定です。周辺の県有地とともに、今後、湘南海岸公園を含めた海岸地域の整備の設計に入ります。圏央道、新東名ができ、内陸から海に来ていただける人が多くなることが予想されます。なでしこ地区を含めた平塚市の海岸地域が人を呼び込める場所になるような計画を進めさせていただきます。計画の際には、パブリックコメントも含め、地域の皆様の御意見を伺っていきたく考えます。

河川の散歩道や遊歩道については、防災対策での説明のとおり、河川を管轄する県には津波対策のための河川整備に係る要望をしています。その中で、皆様が安心して安全に歩ける散歩道や遊歩道についても一緒に考えたいと思います。

ここで、サイクリングロードの管轄が県から市に移ります。道が荒れているとの声もありますので、サイクリングロードの再整備についても今後の課題として考えさせていただきます。

#### 担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

花水川河口の石碑については、昭和十年に横浜貿易新報社（現在の神奈川新聞社）が県内の景勝地45か所を公募し、選出された場所に石碑を建立したものです。古いもののため、管理者が不明であり、河川管理者である平塚土木事務所河川砂防第一課に確認しましたが、河川用地から外れているため所管外という回答でした。現状は管理状況が不明ですが、今後も調査をしてまいりますので御理解いただくようお願いいたします。

（事務担当はみどり公園・水辺課水辺・海浜担当）

**【参加者】**

なでしこ地区の国道134号線の側溝には蓋がありません。子どもたちが落ちたりする事故が起きています。地域の危険な場所であるため、側溝に蓋をつけてください。

**【市長】**

国道134号線の側溝への蓋の設置については、担当課にて確認をし、考えさせていただきます。

**担当課回答**（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

御要望のありました箇所については、本市下水道整備課にて下水道（雨水）の整備を今年度から予定しています。

国道134号線を管理している神奈川県平塚土木事務所へ、蓋掛けの予定について問合せたところ、本市の下水道（雨水）整備後に、神奈川県平塚土木事務所で蓋掛けを行うとのことでした。

御迷惑をおかけしますが、今しばらくお待ちくださるようお願いいたします。

（事務担当は土木総務課道路総務担当）

#### ④ ごみ対策について

##### 【参加者】

なでしこ地区はきれいなまちですが、ごみのポイ捨てなどのマナーが悪い人が目立ちます。

##### 【市長】

ポイ捨ては法律及び条例により市内全域で禁止されています。駅周辺では、路上喫煙の禁止を条例で規定しています。悪質な場合には罰則規定もあります。

植え込みが多い場所等にはポイ捨てがされやすいため、行政が行うハード整備である植生のつくり方等もごみ対策には関係してくることを重々承知しています。

また、ごみ対策には個人の意識が大きく関わります。市民の皆様のごみ対策に対する意識を高めていけるような取り組みや啓発を行っていきたいと考えます。

##### 【参加者】

商店街から出るごみの収集は有料です。ごみの減量化という観点から、商店街から出るごみだけでなく、一般家庭から出るごみも有料化し、戸別収集するべきだと思います。

##### 【市長】

3月末、平塚市と大磯町、二宮町の1市2町でごみ処理に関する協定を結びました。今後は1市2町でごみの分別等をさらに練っていきます。現在、大神地区にある環境事業センターを建て直していますが、環境事業センターが1日に処理できる量には限度があります。ごみ処理に関する協定により1市2町のごみを合わせると、焼却施設を安定的に運転できる限度量を超えてしまいます。そこで、これからは行政と市民の皆様が一体となり、さらなるごみの減量化、資源化を進めなければなりません。まずは、有料化よりも減量化の取り組みをさせていただき、それでも効果がない場合の次の段階としての有料化を考えていきたいと思っています。

行政も一生懸命ごみ対策への取り組みをさせていただきますので、ごみ対策については大変御迷惑をおかけしますが、ぜひ皆様の御協力もお願いいたします。

##### 【参加者】

新しい環境事業センターが稼働した場合、ごみの分別処理等の方法は変わり

ますか。

**【市長】**

ごみ処理の協定を結んだ1市2町では、平塚市が先導的にごみ処理を行ってきました。先導してきた平塚市のごみ処理の方法が基準になると思いますが、ものによっては変更があるかと思えます。変更点などが発生した場合は、必ず市民の皆様への周知を行うようにいたします。

**【参加者】**

なでしこ地区の商店街にあるごみの集積所では、夜間に車でごみを運び、不法投棄をする人がいます。このようなごみの不法投棄を防ぐためには戸別収集が必要で、戸別収集のためには有料化も必要であると思えます。

**【市長】**

不法投棄への対応は市内各所でも課題です。不法投棄が頻繁な地域では防犯カメラをつけてほしいという要望もあります。悪質なところには職員を集中的に配置し、監視もしていますが解決には至りません。どの地域においても同様に、地域の皆様の目で見えていただくことはとても効果があることです。地域の皆様で地域のごみ対策への御協力をお願いいたします。また、環境業務課でも対応させていただきますので、不法投棄などを発見したときには御一報をお願いいたします。不法投棄は犯罪です。行政からも厳しく対応させていただきます。

戸別収集や有料化について、今後はごみの収集に限らず、様々なことにおいて民間委託を考える必要があります。建て直しを行っている環境事業センターは、平塚市が建設を行います但し運営は民間に任せます。民間への委託により、現在のセンター職員をごみ処理に関するサービスに充てることも考えています。そのサービスの一つとして、戸別収集が考えられます。戸別収集を行う時には、有料化を検討して市の収入になるような算段も考えさせていただきます。

## ⑤ ボランティアについて

### 【参加者】

なでしこ地区で子育て支援のボランティアに携わっています。しかし、後継のボランティアが育たずに苦勞しています。小学生や中学生の居場所という点においても、ボランティアは重要な役割を果たします。ボランティアの育成についても、行政が協力してくれると大変助かります。

### 【市長】

行政が行う子育て支援である保育園の充実、子育て支援センター、つどいの広場等の支援はしっかりと行っていきます。

地域の皆様、ボランティアの皆様を支えていただかなければできないことはたくさんあります。地域の皆様が様々な活動、ボランティアに携わり、実際に体験していただき、後継者が育つような環境づくりを進めさせていただきます。

## ⑥ 教育について

### 【参加者】

教育の現場では、子どもを叱りつけることも大切だと思います。

また、障がい児教育について、障がい児は健常児と同じ学級で学ぶべきです。特別な学級に在籍させること自体が差別であると思います。

### 【市長】

学校教育の現場では様々な課題があります。現場では子どもに親身になる姿勢が必要です。今後の教育現場では、どのように子どもに愛情を注ぐかということが課題になります。

障がいのあるお子さんへの教育については、子ども教育相談センター等が関わっています。障がいの状態に合わせて、本人の成長を促していくための教育を特別支援学級に在籍しながら受けています。本人の負担にならないことは普通学級のお子さんと一緒に勉強することを基本に進めています。

これからの平塚市を支えてもらう子どもは宝です。子どもが健やかに育っていけるような取り組みを行っていきたいと考えます。

## アンケート結果報告

【回答数 21件（参加者 15件 傍聴者 6件）】

参加者・傍聴者について

年齢

|     |     |     |     |     |       |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70歳以上 |
| 1名  | 1名  | 2名  | 5名  | 12名 | 0名    |

性別

|    |     |
|----|-----|
| 男性 | 11名 |
| 女性 | 10名 |

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

回答

|           | 参加者 | 傍聴者 | 計  |
|-----------|-----|-----|----|
| 広報ひらつか    | 5名  | 2名  | 7名 |
| ポスターやチラシ  | 2名  | 1名  | 3名 |
| 町内会など地域から | 7名  | 1名  | 8名 |
| 市ホームページ   | 1名  | 2名  | 3名 |
| その他       | 0名  | 0名  | 0名 |
| 回答なし      | 0名  | 0名  | 0名 |

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

回答

|           | 参加者 | 傍聴者 | 計   |
|-----------|-----|-----|-----|
| よかった      | 10名 | 5名  | 15名 |
| まあよかった    | 4名  | 1名  | 5名  |
| どちらともいえない | 1名  | 0名  | 1名  |
| あまりよくなかった | 0名  | 0名  | 0名  |
| よくなかった    | 0名  | 0名  | 0名  |
| 回答なし      | 0名  | 0名  | 0名  |

質問3 質問2であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

回答

- ・自己紹介が長くなり、対話の時間が短くなってしまった。

質問 4 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

回答

|            |    |
|------------|----|
| 伝わった       | 4名 |
| まあ伝わった     | 9名 |
| どちらともいえない  | 1名 |
| あまり伝わらなかった | 0名 |
| 伝わらなかった    | 0名 |
| 回答なし       | 1名 |

質問 5 質問 4 であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。(参加者対象)

回答

- ・平塚市の財政改善政策の話をしたかった。

質問 6 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

回答

- ・司会が良かったです。
- ・要求と要望は言えないとなると、何も言えなくなる。
- ・市長の考えが分かりやすかった。
- ・市長の考え、思いを直接聞くことができ良かったです。
- ・市長が参加者の意見をよく聞き、答えていただく姿は大変良かった。
- ・参加して本当に有意義でした。
- ・市長、参加者と話ができ一体感を感じた。
- ・定期的に行ってほしい。
- ・このなでしこ地区を明るいまちにしたいです。
- ・フリートークの形式をとってほしかった。
- ・少し堅苦しく感じた。
- ・市長さんは大変勉強していると感じました。
- ・非常に有意義で、ありがたい時間でした。
- ・なごやかな雰囲気でした。
- ・落合市長さん、頑張ってください。
- ・私たちも微力ながら良いまちになるよう協力させてください。